

## 2026年1月幹事会 セミナー幹事資料

### 1. 会場予約状況

会場：東レ総合研修センター（新幹線・東海道線 三島駅より徒歩 12分）

日程：2026年8月26日（水）～28日（金）で予約確定済み

### 2. 来年度予算案

2025年9月幹事会のコメントに従い、近年の参加者数を鑑みて、一般参加者45名（総参加者75名）で試算。

支出概要	金額（税込）	備考
東レ総合研修センターへの支払い	2,340,250円	（別紙1）参照
謝礼・交通費	561,000円	昨年度実績
二次会費用・雑費等	133,760円	昨年度実績

支出見込み合計（A）：3,035,010円

参加費収入見込み（B）：42,000円 × 45名 = 1,890,000円

談話会負担額見込み（A - B） = 1,145,010円

### 3. セッション案

昨年度の実施後アンケートより、聴講ニーズの高い題目を抽出して構成。

近年の形式に倣い、3セッション、各2演題で構成。

メインテーマ（案）：

薬物動態研究の新展開 ～評価法の深化・ニューモダリティ・AIが描く未来～

セッション（案）：

<p><u>セッション1：予測精度向上を目指したADME評価法の新潮流</u></p> <p>演題案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロ流体デバイスを用いたADME予測の精緻化</li> <li>・質量分析イメージングの活用事例（マイクロPK）</li> </ul>
<p><u>セッション2：ニューモダリティの薬物動態評価：現状と課題</u></p> <p>演題案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペプチド医薬品の薬物動態評価</li> <li>・核酸医薬品の薬物動態評価</li> </ul>

セッション3：AI・デジタル技術の導入による薬物動態研究の革新

演題案)

- ・ AI の基礎 (AI とは? 薬物動態評価への活用に関する展望など)
- ・ 実際の活用事例の紹介

特別講演 (案) :

本年度も 2 演題を予定。直近の演者案等を参考に検討中 (下記参照)。

若手特別会員の先生にご講演いただくことも検討中。ただし、夏セミナーは参加者が若手中心であり、例会・年会とは異なるため、両先生のご発表の環境に差が出ないように配慮する。玉井会長のご意向や両先生のご希望を踏まえて決定したい。

2024 年度案

- ・ 馬場健史 先生 (九州大学) :  
最新の分析技術を取り入れた各種メタボロミクスの技術開発に関する話題
- ・ 掛谷秀昭 先生 (京都大学) :  
Ah receptor を介したウイルスゲノム合成抑制作用を持つ新規抗ウイルス薬に関する話題

2025 年度案

- ・ 高木敏英 先生 (摂南大学) :  
薬物吸収に対する食事の影響の基礎的な理解から定量的な予測までの話
- ・ 徳島大学大学院医歯薬学研究部 DDS 研究センター :  
DDS 関連で送達技術開発、免疫応答制御など
- ・ AMED 案件の先生 :  
腸内マイクロバイオーーム制御による次世代創薬技術の開発

(別紙1) 東レ総合研修センター見積 (2025年12月取得)

取引方法 銀行振込

円(税込)

区 分	単 価	数 量	金 額	8/26	8/27	8/28
(1)会場使用料			420,200			
大研修室(一日利用)	132,000	2	264,000		1	1
大研修室(半日利用)	79,200	1	79,200	1		
8階多目的室	66,000	1	66,000		1	
多機能室	11,000	1	11,000	1		
(2)宿泊料			1,072,500			
B棟普通室	7,150	150	1,072,500	75	75	
宿泊棟ラウンジ			無料	6	6	
(3)食事代			836,550			
朝食	880	150	132,000		75	75
昼食	1,210	180	217,800	30	75	75
夕食	1,320	75	99,000		75	
懇親会 立食料理	4,400	60	264,000	60		
懇親会 飲物 ※1	1,650	75	123,750	75		
(4)機材費			11,000			
プロジェクター ※2			無料	1	1	1
パソコン	2,200	3	6,600	1	1	1
モニター	550	8	4,400		8	
(5)その他						
合 計 (税 込)			2,340,250			